



第4次都城広域定住自立圏共生ビジョン(概要版) 令和7年4月策定

第1章 ビジョン策定に当たって

1 策定の主旨

●都城志布志道路や志布志港の整備等を踏まえ、取り組むべき課題に的確に対応し、圏域全体の活性化を図る。

2 計画期間

●令和7年度 ~ 令和11年度(5年間)

3 ビジョンの位置付け

●定住自立圏構想の「実施計画」

第2章 都城広域定住自立圏について

1 圏域の概要

●構成市町
都城市(中心市)
三股町、曾於市、志布志市



2 圏域内の結びつき

●都城市への通勤・通学割合(%)

市町	通勤割合	通学割合
三股町	59.2	50.8
曾於市	25.1	23.5
志布志市	2.1	4.2

第3章 基本的な方向性

1 目指すべき将来像

歴史・経済につながりを持つ都城広域定住自立圏

互いの地域資源を活かした広域・広範な連携

高次の都市機能と環境や地域コミュニティが融合

時代の変化に対応し、持続的に発展する
集約とネットワークで築く県境を越えた南九州の広域都市圏

2 政策分野の体系

3分野 11項目 18事項 の政策体系

第4章 政策分野別の課題と具体的な取組

1 生活機能の強化に係る政策分野

政策分野	現状・課題(○)と取組み(⇒)	主なKPI(目標値:R11)	
医療	○医師、医療従事者の不足が懸念。小児・産科医院等確保 ⇒拠点医療施設・夜間救急体制の維持、小児・産科の開設促進	圏域内の小児・産科医院数の維持	小児科23 産科4 ※ (R11時点)
都城志布志道路・志布志港を活かした産業振興	○都城志布志道路の全線開通、志布志港の整備等を活かした販路拡大、企業立地の促進等が必要 ⇒農林畜水産業、商工業活性化に向けた輸出イベント等	道路・港を活用した新たな取組数	4件 (R7~11累計)
基幹産業の振興	○全国有数の畜産地帯。担い手の確保、物価高騰等の経営難 ⇒SKLV=スクラブ等も活用した人材育成、持続的な営農支援	新規就農者数	210人 (R7~11累計)
教育及び文化	○デジタル化等の社会変化に対応した環境整備 ⇒特色ある教育の推進、産学官連携の推進	高等教育機関との連携事業数	70件 (R11時点)
防災及び消防	○南海トラフ地震への備え、後方支援体制の整備等 ⇒広域訓練の実施、消防団等の地域防災力の向上	消防団広域連携訓練の実施	5件 (R7~11累計)

※産科は分娩取扱医院のみの数値。

※SKLV=スクラブ:曾於市と鹿児島大学が連携し、財部高校跡に整備された「南九州産業獣医学拠点」の略称。

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

政策分野	現状・課題(○)と取組み(⇒)	主なKPI(目標値:R11)	
道路等の交通インフラの整備	○防災体制の向上・経済活性化等に向けた新たなネットワーク構築 ○高速道・高規格道路等をより一層活かすためのインフラ整備 ⇒都城末吉道路、曾於志布志道路、牛ノ峠バイパスの整備促進 ⇒関連するアクセス道、利便・効果促進に向けた関連整備	3道路の新規事業化に向けた機運醸成シンポジウムの開催数	10回 (R7~11累計)
観光・スポーツ	○新たな観光資源の発掘、豊富なスポーツ施設の活用 ⇒関之尾、圏域内道の駅等のネットワーク化、キャンプ合宿推進	スポーツ合宿等の実施数	2,000件 (R7~11累計)
定住及び移住	○社会減抑制、UIJターン等の受け皿の確保、外国人への対応 ⇒雇用創出等による定住促進、多文化共生の推進	市町の施策を利用した移住者数	8,100人 (R7~11累計)
地域公共交通	○バス路線の維持、高齢者ドライバー等の移動支援 ⇒圏域全体でのモビリティマネジメントの推進	圏域間バス路線の路線数維持	13路線 (R11時点)

3 圏域マネジメント能力の強化に係る分野

政策分野	現状・課題(○)と取組み(⇒)	主なKPI(目標値:R11)	
人材の育成・連携	○圏域全体を見据えた人材育成、NPO等との育成・連携 ⇒政策立案研修の実施、NPO等への情報発信、活動支援等	研修成果に基づく施策の実施件数	2件 (R7~11累計)
デジタル化の推進	○デジタルによる社会変革への対応、デジタル人材の育成 ⇒デジタル研修の実施、行政手続きのデジタル推進	デジタル関連研修会の実施回数	10件 (R7~11累計)

※上表については、各政策分野の項目事項のうち、主なもののみ抽出して記載しています。